様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 690121	小学校副読本購入事業	主管課名	学校教育課
この事務事業の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成		
	施策	豊かな心と個性が輝くまち	課長名	水野　克弘
	基本事業	教育内容・活動の充実		

(1)事業の概要

児童が使用する教科書以外の教材の一部を購入します。
また、小学３・４年の社会科で地域の学習をする児童のために、副読本「みよし」を配布する。
５年毎に副読本「みよし」編集委員会を設置し、実情に合わせた内容の改訂を行う。（次回は平成２８年度に編集委員会を設置し、平成２９年４月１日改訂）

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	公費購入補助教材の種類（「みよし」を除く）	種類
②	副読本「みよし」印刷冊数	冊
③		

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	７種類の副読本を購入し、配布した。「楽しい読書」については、学級文庫としているため、不足する分を購入した。また、地域学習の副読本として副読本「みよし」の印刷製本を行った。

26年度計画	■前年と同様 □変更あり →	変更内容	

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①市内全小学生
②小学校3年生（改訂年は3・4年生）

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	全児童数	人
②	小学校3年児童数（改訂年は3・4年生）	人
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①学習のための補助教材として活用してもらう。
②「みよし」を活用し、住んでいる町をより知ってもらう。

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	学習に活用できている児童数/全児童数	%
②	副読本「みよし」を活用した授業時間数	時間
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

安心して生活でき、進んで学習できる環境をつくるとともに、規則正しく生活する健康な体力づくりを行う態度を育てる

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	教育基本計画における重点施策の達成率	%
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標 ＼ 年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	種類	7	7	7	7	7	7
	②	冊	810	710	650	700	1,500	750
	③							
(6)の対象指標	①	人	4,564	4,361	4,242	4,257	4,208	4,155
	②	人	784	730	618	654	729	695
	③							
(7)の成果指標	①	%	100	100	100	100	100	100
	②	時間	1,280	1,280	1,280	1,280	1,280	1,280
	③							
(8)の結果の成果指標	①	%	96.2	98.1	100	100	100	100
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	10	項	02	目	02

(11)コスト

(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	9,182	6,198	7,240	11,799	9,290	7,599
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,182	6,198	7,240	11,799	9,290	7,599
人件費B		千円	754	742	742	742	742	742
	正職員従事時間×人数	時間×人	200 × 1	200 × 1	200 × 1	200 × 1	200 × 1	200 × 1
	正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0
その他費用C		千円	30	35	35	35	35	35
トータルコストA+B+C		千円	9,966	6,975	8,017	12,576	10,067	8,376
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　人	2	2	2	3	2	2
	②	千円/　人	13	10	13	19	14	12
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	690121	小学校副読本購入事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
昭和４３年　から	児童の学習のために購入は必要であるが、高額の予算となるため、内容の精査が必要との意見が議会から出されている。 副読本の取扱いは各市町各々であり、選択が難しい。
(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
児童の学習に活用するため	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	
□変化していない ■変化している → 変化した内容：副読本の一部を精査した。	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	学校教育法第３４条、地方教育行政３３条	
			この事務を行う根拠又は理由	児童にとって必要な補助教材であり有益適切なものはこれを使用することができるとされている	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	現状で児童が副読本を十分に活用していると考えられるため。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名		
			類似事業との再編の可能性	□ある □ない	内容
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要 ■受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	↑　増加	事業費の方向性	↑　増額	成果の方向性	→　維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						